

やが市営住宅建替機械設備工事

図面目録

図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE
M-01	特記仕様書（機械設備）（1）	——	M-10	1階給排水設備平面図（A・B）	S=1/100
M-02	特記仕様書（機械設備）（2）	——	M-11	2階給排水設備平面図（A・B）	S=1/100
M-03	特記仕様書（機械設備）（3）	——	M-12	R階給排水設備平面図（A・B）	S=1/100
M-04	特記仕様書（機械設備）（4）	——	M-13	住戸給排水設備平面詳細図	S=1/30
M-05	案内図・配置図	S=1/200	M-14	PS断面詳細図A・B	S=1/30
M-06	建築基本立面図（参考）	S=1/100	M-15	住戸換気設備平面詳細図	S=1/30
M-07	建築基本断面図（参考）	S=1/100	M-16	浄化槽設備図（1）	S=1/40
M-08	器具機器表	——	M-17	浄化槽設備図（2）	S=1/40
M-09	凡例・樹規格表・土工図	——	M-18	浄化槽設備図（3）	——

令和7年

名護市 建設部 建築住宅課

		○ 9 工事の記録 (1.2.4)	沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。																																															
項目		特記事項																																																
	※																																																	
一般共通事項																																																		
○ 1 工事实績情報の登録 (1.1.4)	工事实績情報の登録を行う。ただし、請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。																																																	
○ 2 適用図書等 (1.1.6)	※公共建築工事標準仕様書(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ※公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ※公共建築設備工事標準図(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修) ※営繕工事写真撮影要領(令和5年版) ※(建築、電気設備、機械設備)工事監理指針(令和4年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ※建築材料・設備機材等品質性能評価事業(建築材料等・設備機材等)評価名簿(令和6年版)(一般社団法人公共建築協会) ※																																																	
○ 3 別契約の関連工事 (1.1.7)	(1) 関連工事との取り合いは、別表-1による。ただし、図示されたものを除く。 (2) 他工事の施工に支障をきたさないように、施工に必要な位置、寸法、数量等を速やかに明示し、円滑な施工に協力すること。																																																	
4 工事の一時中止に係る事項 (1.1.9)	工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。																																																	
5 工事の余裕期間	・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】 【以下から選択:発注者指定方式/任意着手方式/フレックス方式】 (1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。 なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。 (2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式-1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。 (3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。																																																	
6 遠隔臨場の実施 (1.1.14)	・ 本工事は遠隔臨場を適用する。使用する機器及び立合う工程等については監督職員と協議をすることとする。																																																	
7 概成工期 (1.2.1)	図示された範囲は、令和 年 月 日 までに完了すること。																																																	
○ 8 施工図等 (1.2.3)	(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者へ移譲するものとする。 (2) 受注者は施工に先立ち各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、監督員に各工事の必要な内容を記載した総合図を提出し確認を受ける。ただし、監督員より総合図の作成を要しない旨の指示がある場合はこの限りでない。 (3) 施工計画書及び主要機材の製作図並びに施工図は監督員の指示する時期に提出する。ただし、監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、製作図及び施工図は工事着工前までに提出し承諾を受ける。																																																	
		○ 10 設計図CADデータの貸与	本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。																																															
		○ 11 施工管理体制 (1.3.1)	(1) 工事請負代金額が4,500万円以上(建築一式工事の場合9,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア 現場施工に着手するまでの期間 ・ 請負契約の締結の日の翌日から 令和 年 月 日 までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ※ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。																																															
		○ 12 主任技術者等の資格	(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者の資格は、以下による。 ※ 資格の区分1 次のイ又はロに掲げるもの イ 建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。)のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 ロ 技術士法(昭和58年法律第25号)による第二次試験のうち、技術部門を機械部門、上下水道部門又は衛生工学部門に合格した者 ・ 資格の区分2 次のイ又はロに掲げるもの イ 技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 ロ 資格の区分1のロに掲げる者 ・ 資格の区分3 次のイ又はロに掲げるもの イ 建設業法第7条第2号イ又はロに定める実務経験を有する者 ロ 昭和47年建設省告示第352号により、上記と同等以上の知識及び技術、技能を有すると認定された者 (2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。																																															
		○ 13 主任技術者又は監理技術者の兼務	※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。 ・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を認めない。																																															
		14 電気保安技術者 (1.3.2)	電気工作物に係る工事を行う場合は、その工事期間において監督員の承諾を受けた電気保安技術者を配置し、電気工作物の保安業務を行うこと。																																															
		15 施工条件 (1.3.3)	施工条件は、図示及び以下による。 ()																																															
		16 交通安全管理 (1.3.6)	国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日沖縄県公安委員会告示第38号)																																															
		○ 17 施工中の環境保全等 (1.3.8)	(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。																																															
		○ 18 発生材の処理等 (1.3.9)							(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号、最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kW) ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの) キ ローラ類 ク ホイールクレーン 適切、安全な工事の実施のため、必要に応じ事前に施工調査を行う。(建物や周辺の状況等調査、残存物品調査、PCB、アスベスト等有害物質調査など) (1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">発生材の種類及び処理方法</th> </tr> <tr> <td>引渡しを要するもの</td> <td>・ 無</td> <td>・ 有(図示)</td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物</td> <td>・ 無</td> <td>・ 有(図示) ※現場調査を行う</td> </tr> <tr> <td>再利用を図るもの</td> <td>・ 無</td> <td>・ 有(図示)</td> </tr> </table> (2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。 (3) 建設リサイクルの推進について 受注者は、該当する建設資材がある場合、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(以下「COBRIS」という。)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出しなければならない。 また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時にCOBRISにより作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。 (4) 本工事で発生する建設廃棄物を現場外に搬出する場合、以下のいずれかとする。 ただし、島内、もしくは建設発生木材(伐採木を含む)・建設汚泥については工事現場から50km以内に以下の施設がない場合は、この限りではない。 ①搬出した廃棄物の種類を原材料とするゆいぐる材を製造している再資源化施設へ搬出 ②搬出した廃棄物の種類を原材料とするゆいぐる材の製造を行っていないが、そこで再資源化された後にゆいぐる材製造業者へ出荷している施設へ搬出 (5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 (6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、「廃棄物」という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。 「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。 イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。 ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。 (7) 撤去前に内容物(燃料、冷媒、吸収液、廃油等)の回収を要する機器、配管等がある場合、撤去部に有害物質を含む材料(アスベスト、鉛、PCB等)が使用されている場合は、監督員と協議し、関係法令により適切に処置する。	発生材の種類及び処理方法			引渡しを要するもの	・ 無	・ 有(図示)	特別管理産業廃棄物	・ 無	・ 有(図示) ※現場調査を行う	再利用を図るもの	・ 無	・ 有(図示)																													
発生材の種類及び処理方法																																																		
引渡しを要するもの	・ 無	・ 有(図示)																																																
特別管理産業廃棄物	・ 無	・ 有(図示) ※現場調査を行う																																																
再利用を図るもの	・ 無	・ 有(図示)																																																
		<table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>やが市官住宅建替機械設備工事</td> <td>工事年度</td> <td>令和 7 年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>沖縄県名護市宇屋我地内</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書(機械設備)-2</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>名護市 建設部 建築住宅課</td> <td>縮尺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>M- 02</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検印</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>設計者</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>名称</td> <td>有限会社ナカソネ設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>資格者氏名</td> <td>仲宗根 徹</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>登録番号</td> <td>一級建築士登録 266099号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>所在地</td> <td>沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号</td> </tr> </table>								工事名称	やが市官住宅建替機械設備工事	工事年度	令和 7 年度	工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	特記仕様書(機械設備)-2	発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺		概要		図面番号	M- 02	検印	管理建築士	設計	製図			設計者			名称	有限会社ナカソネ設計			資格者氏名	仲宗根 徹				登録番号	一級建築士登録 266099号				所在地	沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号
工事名称	やが市官住宅建替機械設備工事	工事年度	令和 7 年度																																															
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	特記仕様書(機械設備)-2																																															
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺																																																
概要		図面番号	M- 02																																															
検印	管理建築士	設計	製図																																															
			設計者																																															
			名称	有限会社ナカソネ設計																																														
			資格者氏名	仲宗根 徹																																														
			登録番号	一級建築士登録 266099号																																														
			所在地	沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号																																														

<p>○ 19 工事の保険等</p>	<p>(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 火災保険 ※ 組立保険 ※ 請負業者賠償責任保険 ・ 建設工事保険 ・ 労働災害総合保険 <p>(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後一か月以内に加入を証明するための書類を発注者に提出する。</p> <p>(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。</p> <p>ア 掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式による場合にあっては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。</p> <p>イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。</p> <p>ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。</p> <p>エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。</p>																
<p>20 ゆいぐる材について</p>	<p>(1) ゆいぐる材の利用</p> <p>ア 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいぐる材に限り、原則「ゆいぐる材」とする。それ以外を原材料とするゆいぐる材は率先して使用することとする。</p> <p>イ ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐる材以外の再生資材を使用できる。この場合においても受注者は、「ゆいぐる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施しなければならない。</p> <p>ウ ゆいぐる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用する。</p> <p>(2) ゆいぐる材の品質管理</p> <p>ア 受注者は、ゆいぐる材の品質管理にあたっては、標準仕様書等のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて実施しなければならない。</p> <p>イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいぐる材を使用する場合、着手後に公益財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。</p> <p>ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験の試料採取や現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後に行う現場簡易試験を監督員等の立会のもと実施しなければならない。</p> <p>エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した後、速やかに監督員等に試験結果を報告しなければならない。</p>																
<p>○ 21 機材の品質等 (1.4.2)</p>	<p>※ 工事に使用する機材の品質等は図示(機器仕様書等)又はこれらと同等のものとする。(製品番号等は参考であり限定しない。)</p> <p>※ 使用する機材はあらかじめ監督員の承諾を受ける。</p> <p>※ 使用する機材が「建築資材・設備機材等品質性能評価事業」(一般社団法人公共建築協会)による場合は、評価書の写しを監督員に提出する。</p>																
<p>○ 22 技能士 (1.5.2)</p>	<p>技能士を適用する。技能検定の職種及び作業種別は以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配管施工(建築配管作業) ・ 熱絶縁施工(保温保冷工事作業) ・ 冷凍、空調調和機器施工(冷凍、空調調和機器施工作業) ・ 建築板金施工(ダクト板金作業) 																
<p>23 化学物質の濃度測定 (1.5.10)</p>	<p>(1) 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等。</p> <table border="1" data-bbox="371 1365 1023 1459"> <thead> <tr> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> <th>測定時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けられない。</p>	測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考												
測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考														
<p>24 技術検査 (1.6.2)</p>	<p>中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。</p> <p>()</p>																
<p>○ 25 完成時の提出図書 (1.7.1)</p>	<p>(1) 本工事の完成時の提出図書は、「宮繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。</p> <p>(2) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。</p> <p>(3) 工事完成図書は「要領」に基づいた電子データとなっているか(公財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。工事完成図書は、電子媒体で(正)1部提出する。「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。</p>																

<p>26 情報共有システムの使用</p>	<p>本工事は、沖縄県が指定する情報共有システムを使用する。</p> <p>(1) 現場事務所等に情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>【インターネット環境】:ブロードバンド回線 【パソコンOS】 :Microsoft Windows 11 【推奨ブラウザ】 :Microsoft Edge</p> <p>情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。</p> <p>(2) 受注者は、沖縄県CALSSシステムの利用にあたっては沖縄県とCALSS運営会社で定めた使用許諾料を沖縄県CALSSシステムを運営している者に支払うこと。</p> <p>(3) 沖縄県CALSSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること(支払いの事実を証明する書類(銀行振り込みの写し等)を提出)。</p>
<p>27 標識その他 (1.7.4)</p>	<p>主機械室に機器等の取扱い方法、点検項目及び系統図等を記載したアクリル樹脂製の案内板を設ける。記載内容、設置場所等は監督員の承諾を受けること。</p>
<p>○ 28 機材</p>	<p>監督員の指示がある場合を除き、工事に使用する機材の規格、性能等は図示(機器仕様書等)によるほか標準仕様書等、標準図による。</p>
<p>○ 29 施工</p>	<p>監督員の指示がある場合を除き、工事の施工は、図示によるほか標準仕様書等、標準図による。</p>
<p>○ 30 耐震施工</p>	<p>(1) 耐震施工は下記による。ただし、設計用標準震度が図示された場合は、指定された設計用標準震度を用いて耐震施工を行う。 ※「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」</p> <p>・</p> <p>(2) 建築物導入配管で不等沈下のおそれがある場合及び建物のエキスパンションジョイント部の配管は、図示によるほか標準図による措置を施す。</p> <p>(3) 架台を使用する場合は、耐震計算書で機器の高さに架台の高さを含むこと。ただし、含まない場合は、耐震計算書に理由を記載すること。</p>
<p>31 磁気探査</p>	<p>本工事は磁気探査業務を含む。実施は「磁気探査実施要領 令和2年1月」(沖縄県土木建設部)によるものとし、位置は図示による。</p>
<p>○ 32 墜落制止用器具</p>	<p>墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)を遵守すること。</p>
<p>○ 33 「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事</p>	<p>本工事は、「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事の対象工事である。実施については、「沖縄県「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事試行要領」及び「「労務費見積り尊重宣言」実施要領」(2018.12.21 日本建設業連合会)等を参照し実施するものとする。</p>
<p>34 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用について</p>	<p>本工事は、建設キャリアアップシステム(以下「CCUS」という。)活用工事の試行対象であり、実施については、受注者における希望型とする。受注者は、工事着手前までにCCUS活用について、実施の有無を工事打合簿にて発注者へ報告するものとする。</p> <p>実施については、「沖縄県 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」及び「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」(一般財団法人建設業</p>
<p>35 その他</p>	<p>※</p>
<p>共通工事</p>	<p>1 総合試運転調整等 (1.3.3)</p> <p>総合調整は以下の項目を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の調整 ・ 室内気流及びじんあいの調整 ・ 騒音、振動の調整 ・ 飲料水の水质の測定 ・ 雑用水の水质の測定 ○ 運転状態(総合試運転調整結果)の記録

<p>○ 2 配管材料 (2.1.2)</p>	<p>管材は別表-2による。ただし、図示されたものを除く。</p>																																							
<p>3 埋設配管 (2.7.1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地中埋設標の設置は図示によるほか屋外埋設管の分岐、曲り部に設置する。 ・ アスファルト舗装以外の地中埋設標は、(・ コンクリート製 ・ 鉄製)とする。 																																							
<p>○ 4 保温工事 (3.1.1)</p>	<p>図示および契約図書等に記載されたものを除き、保温は不要とする。また、保温の種別、施工箇所等は図示による。</p> <p>露出部分は全て塗装を施すこと。</p>																																							
<p>5 塗装 (3.2.1)</p>	<p>本工事で必要な動力用水光熱費等の費用は、受注者の負担とする。監督員事務所を本工事で</p> <p>(※設置しない ・ 設置する(・ 構内 ・ 構外 ・ 既存建物内一部使用))。監督員事務所に設置する備品等の種類及び数量は以下のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="2122 493 2775 567"> <thead> <tr> <th>設置する備品等の種類</th> <th>数量</th> <th>設置する備品等の種類</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	設置する備品等の種類	数量	設置する備品等の種類	数量																																			
設置する備品等の種類	数量	設置する備品等の種類	数量																																					
<p>○ 6 仮設工事 (4.1.1)</p>	<p>足場の組立、解体又は変更の作業を行う場合は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p>																																							
<p>○ 7 土工事 (4.2.1)</p>	<p>建設発生土の処分は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 構内敷きならし ・ 構内たい積 ○ 場外搬出適切処理 <p>搬出先名称()</p> <p>搬出先所在地()</p> <p>運搬距離(km)</p> <p>搬出先基準(条件)()</p>																																							
<p>○ 8 その他</p>	<p>(1) 受注者が代行で行う諸官公署手続き費用等は、受注者の負担とする。</p> <p>(2) 以下の負担金は請負者の負担とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道引込に係る負担金(円) ・ ガス引込に係る負担金(円) <p>(3) 図示されたものを除き、以下による。</p> <p>※</p>																																							
<p>空調調和設備工事</p>																																								
<p>1 空調調和機</p>	<p>室外機は、図示された場合を除き以下による。</p> <p>※耐塩処理を施す。(原則、県内工場施工。5年間保証。)</p> <p>※端子板にヤモリガード対策を施す。</p>																																							
<p>2 制気口</p>	<p>図示されていない制気口の材質は(・ 鋼板 ・ アルミニウム板)とする。</p>																																							
<p>3 ダクト (1.14.3)</p>	<p>長辺が1,500mm以下の長方形ダクトは、図示された場合を除き、 ・ アングルフランジ ・ コーナーボルト(・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ)工法とする。</p>																																							
<p>4 ダクト付属品</p>	<p>風量測定口の取付位置は図示のほか、以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送風機吐側 ・ 送風機吸い込み側 ・ 外気取り入れダクト 																																							
<p>5 設計温湿度条件</p>	<p>設計温湿度条件は以下による。</p> <table border="1" data-bbox="2122 1417 2715 1522"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="2">室内()</th> </tr> <tr> <th>温度(°C)</th> <th>湿度(%)</th> <th>温度(°C)</th> <th>湿度(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>32.8</td> <td></td> <td>26</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		外気		室内()		温度(°C)	湿度(%)	温度(°C)	湿度(%)	夏季	32.8		26	50	冬季																								
	外気		室内()																																					
	温度(°C)	湿度(%)	温度(°C)	湿度(%)																																				
夏季	32.8		26	50																																				
冬季																																								
<p>6 その他</p>	<p>※</p> <table border="1" data-bbox="2092 1743 2775 1974"> <tr> <td>工事名称</td> <td>やが市宮住宅建替機械設備工事</td> <td>工事年度</td> <td>令和 7 年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>沖縄県名護市宇屋我地内</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書(機械設備)-3</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>名護市 建設部 建築住宅課</td> <td>縮尺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>M- 03</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検印</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>設計者</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>名称</td> <td>有限会社ナカソネ設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>資格者氏名</td> <td>仲宗根 徹</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>登録番号</td> <td>一級建築士登録 266099号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>所在地</td> <td>沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号</td> </tr> </table>	工事名称	やが市宮住宅建替機械設備工事	工事年度	令和 7 年度	工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	特記仕様書(機械設備)-3	発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺		概要		図面番号	M- 03	検印	管理建築士	設計	製図			設計者			名称	有限会社ナカソネ設計			資格者氏名	仲宗根 徹			登録番号	一級建築士登録 266099号			所在地	沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号
工事名称	やが市宮住宅建替機械設備工事	工事年度	令和 7 年度																																					
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	特記仕様書(機械設備)-3																																					
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺																																						
概要		図面番号	M- 03																																					
検印	管理建築士	設計	製図																																					
			設計者																																					
			名称	有限会社ナカソネ設計																																				
			資格者氏名	仲宗根 徹																																				
		登録番号	一級建築士登録 266099号																																					
		所在地	沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号																																					

別表-1(関連工事との取り合い)

工事内容	本工事			
	機械	電気	建築	
機器の基礎	屋内設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	・	・
	屋上設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	・	・
	屋外設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	・	・
	架台、アンカーボルト	※	・	・
貫通スリーブ (はり、床、壁)	スリーブ	※	・	・
	補強鉄筋	・	・	※
	スリーブの穴埋め	※	・	・
箱入れ (はり、床、壁)	箱入れ	※	・	・
	補強鉄筋	・	・	※
天井、壁の切り込み	型枠の穴埋め	※	・	・
	墨出し	※	・	・
開口部補強 インサート	下地組み、ボード類切り込み (吹出口、吸込口、消火栓等)	※	・	・
	軽量鉄骨天井、壁下地	・	・	※
外気取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	・	・	・
換気扇の取付枠	換気扇の取付枠	※	・	・
電気配管配線	機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線	※	・	・
	機器付属の制御盤及び操作盤への電源供給配管、配線	・	※	・
	天井吊り機器(空調機、空調換気扇)の本体と操作スイッチ間の配管	・	※	・
	上記の配線	※	・	・
	パッケージ型空調機などで屋内機と屋外機との間の配管	・	※	・
	上記の配線	※	・	・
	電極棒及びフロートスイッチの本体	・	・	・
自動制御	上記の配管、配線	・	・	・
	電気配管	・	・	・
	電気配線	・	・	・
浄化槽	電源供給	・	・	・
	コンクリート躯体	・	・	・
	基礎コンクリート	※	・	・
	基礎杭	・	・	・
	根切り、埋戻し	※	・	・
	残土処理	※	・	・
	防護柵	・	・	・
	土止め工事	・	・	・
	保護砂	※	・	・
	湧水処理	※	・	・
	送風機室(換気用送風機を含む)	※	・	・
樋	操作盤までの1次側電気工事	・	※	・
	操作盤以降の2次側電気工事	※	・	・
	ルーフトレイン及び立て樋	・	・	・
流し類	立て樋接続用埋設横引管	・	・	・
	台所流し台、手洗い流し台(SUS人研ぎ共)	・	・	※
化粧鏡	上記の配管接続	・	・	・
カウンター	衛生陶器メーカー規格外の物	※	・	・
身障者用手すり	はめ込洗面器のカウンター	・	・	・
	衛生器具回り	※	・	・
	その他手すり	・	・	・
		・	・	・

※配線は接続を含むものとする。

別表-2(管材)

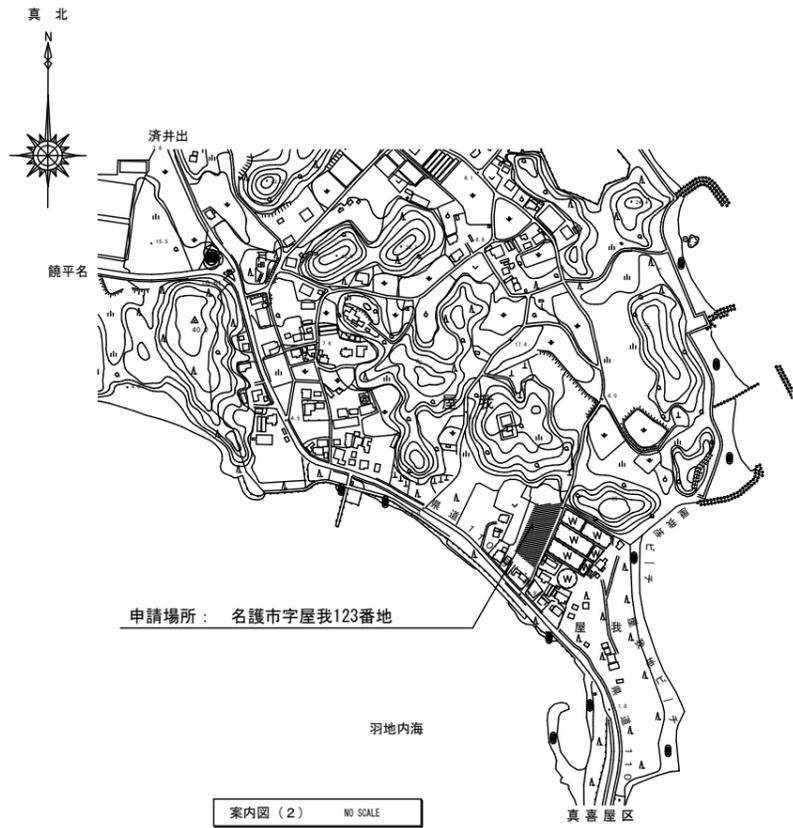
用途	施工箇所	管材
冷温水管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
冷却水管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
蒸気管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
高温水管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
油管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
ブライン管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
冷媒管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
給水管	屋内一般配管	さや管ヘッダー工法
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	水道用硬質ポリ塩化ビニル管JIS K 6742(
	地中配管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管JIS K 6742(
給湯管	屋内一般配管	さや管ヘッダー工法
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	耐熱性硬質塩化ビニル管
	地中配管	
消火管	屋内一般配管	
	機械室・便所配管	
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	
	地中配管	
排水管	屋内一般配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741)
	機械室・便所配管	〃
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	〃
	地中配管	
通気管	屋内一般配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741)
	機械室・便所配管	〃
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	〃
	地中配管	〃
ガス管	屋内一般配管	ポリエチレン被服鋼管
	機械室・便所配管	〃
	屋外配管(架空、暗渠内、共同構内)	〃
	地中配管	

特記事項

※ 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の断熱材の厚さは、液管10mm以上、ガス管20mm以上とする。

※

工事名称	やが市宮住宅建替機械設備工事			工事年度	令和 7 年度	
工事場所	沖縄県名護市字屋我地内			図面名称	特記仕様書(機械設備)-4	
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課			縮尺		
概要				図面番号	M- 04	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	有限会社ナカソネ設計
					資格者氏名	仲宗根 徹
					登録番号	一級建築士登録 266099号
					所在地	沖縄県名護市宮里三丁目4番7-1号

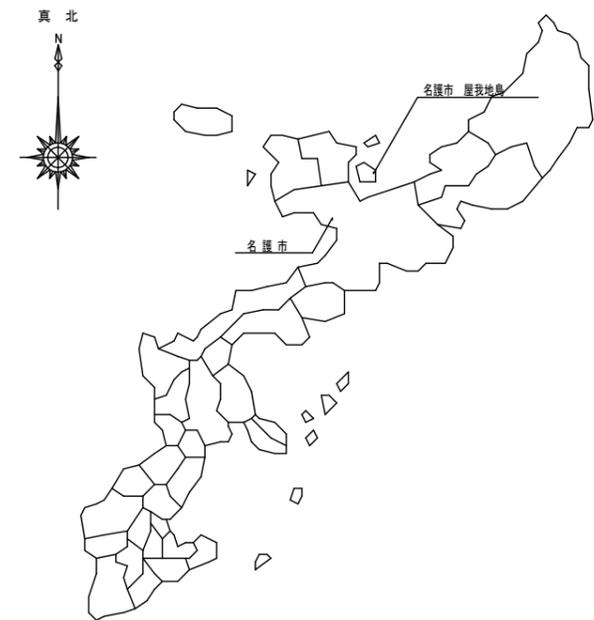


申請場所：名護市宇屋我123番地

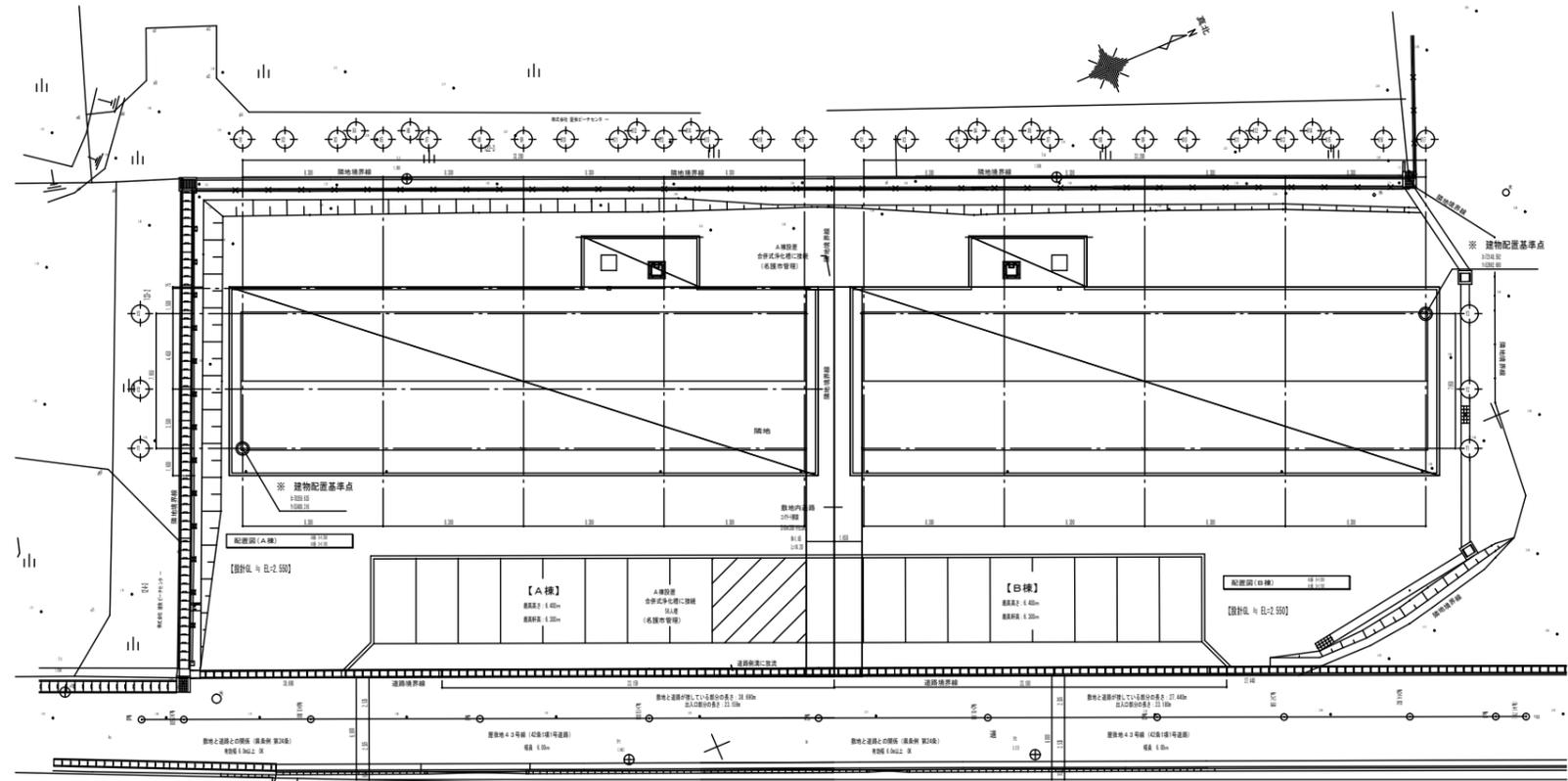
羽地内海

案内図 (2) NO SCALE

真喜屋区



案内図 (1) NO SCALE



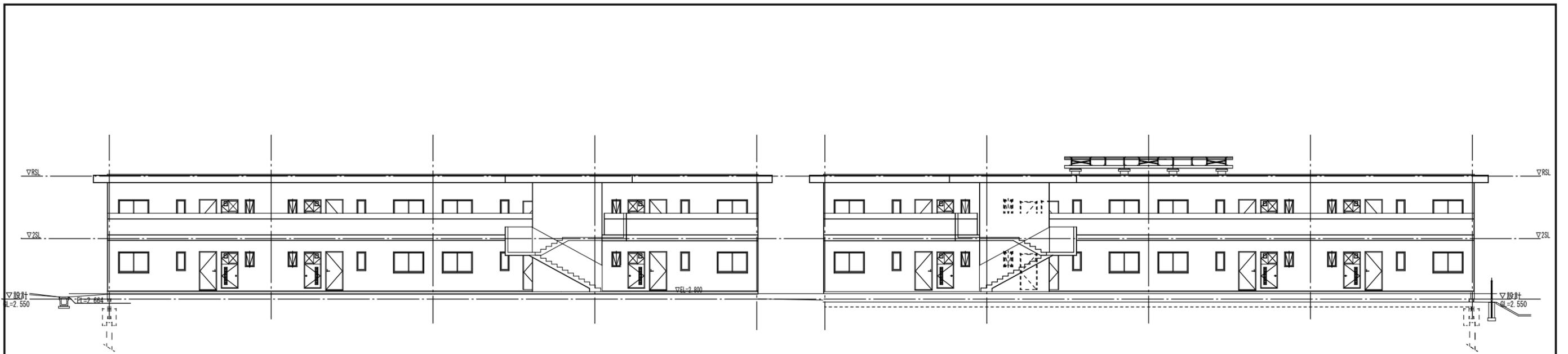
【道路と敷地の関係】
敷地と敷居が異なる部分の長さ
1.50m

敷地と敷居の異なる部分の長さ
2.00m (1.50m)

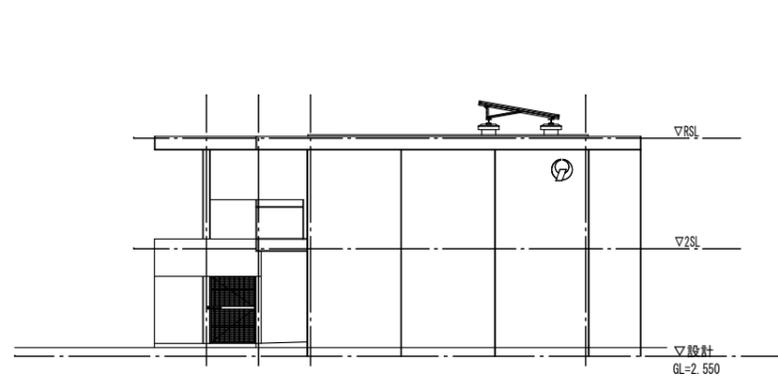
※ 地盤面の算定 (台帳)
建築物が基礎の地盤と異なる地盤の高程差が
無いので平均地盤面と仮定してある

配置図 A縮 5:1/400
A縮 5:1/200

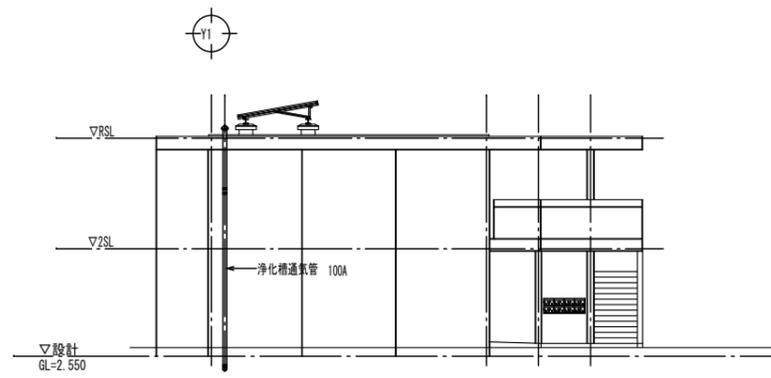
工事名称	やが市営住宅建設機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	現地案内図、配置図
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A縮 5:1/200 A縮 5:1/400
図面番号			M-05
概要	管理建築士 設計 製図	名称	有限会社ナカノネ設計
検印		資格者氏名	管理建築士 仲宗根 章
		登録番号	1級建築士登録 1次) 第266009号 沖縄県建築士会 第266009-1号
		所在地	TEL 0980-52-2797



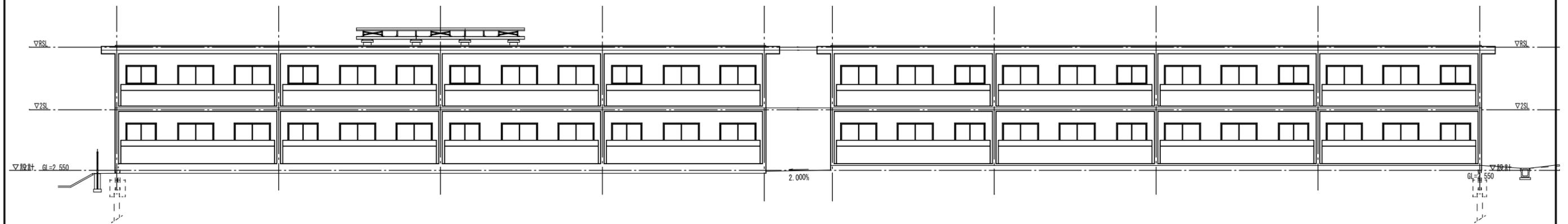
C面立面図 (A棟) A層 1/100
B層 1/100



B面立面図 (A棟) A層 1/100
B層 1/100

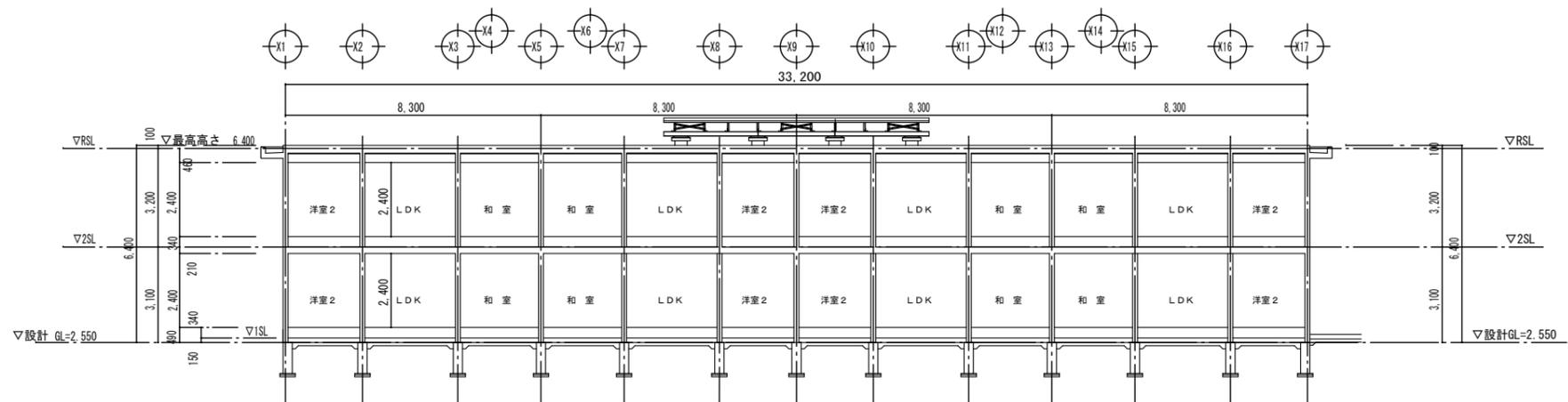


D面立面図 (B棟) A層 1/100
B層 1/100

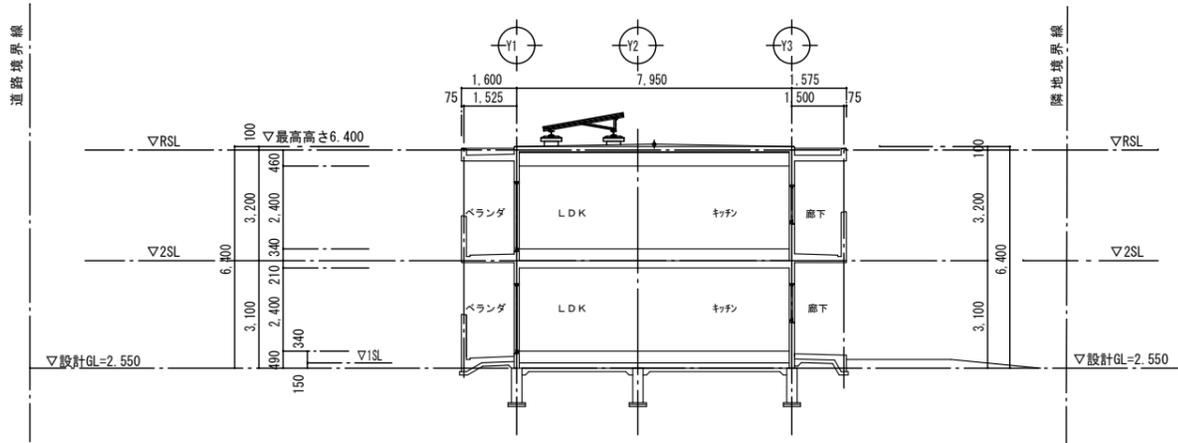


A面立面図 (A棟) A層 1/100
B層 1/100

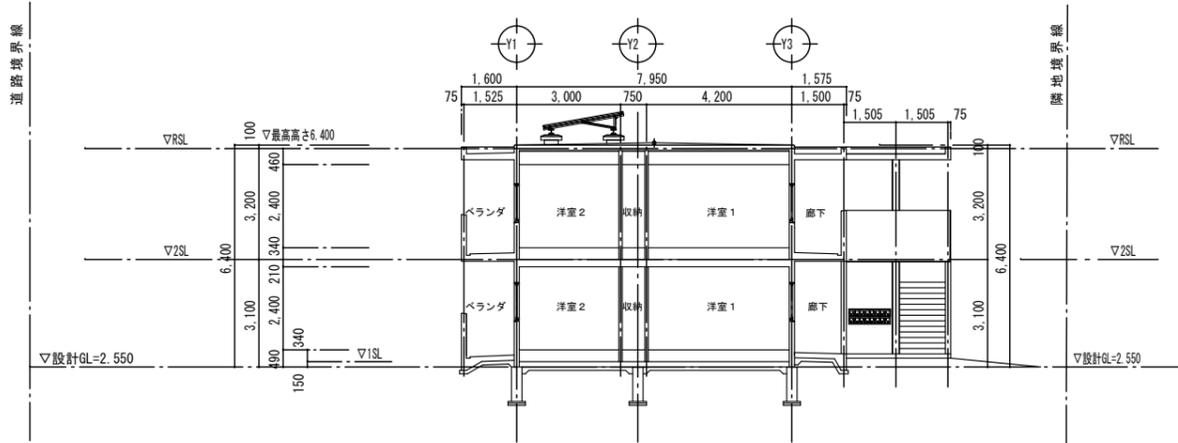
工事名称	やが市営住宅建替機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋狭地内	図面名称	建築基本立面図 (参考)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A層 1/100 B層 1/100
摘要		図面番号	M-06
機印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	管理建築士	仲宗根 豊
	登録番号	1級建築士登録	(大分) 第2660009号
	所在地	沖縄県名護市宇屋狭4番7-1号 TEL. 0980-52-2707	



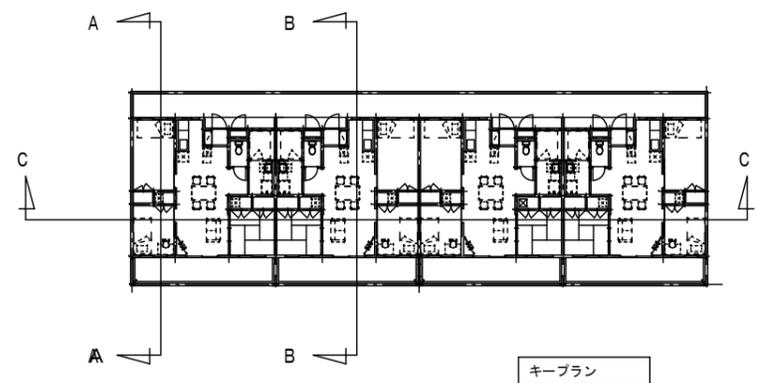
C~C断面図
43番 S:1/200
 44番 S:1/100



B~B断面図
43番 S:1/200
 44番 S:1/100



A~A断面図
43番 S:1/200
 44番 S:1/100



工事名称	やが市営住宅建築機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	建築基本断面図 (参考)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	縦 3/100 横 3/100
備考		図面番号	M-07
検印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	管理建築士	仲宗根 徹
	登録番号	1級建築士登録 (大分) 第206099号	
	所在地	沖縄県名護市宇屋我地内 TEL: 0980-92-2737	

衛生器具表

品名	品番		仕様(付属品)	数量	備考
	TOTO	INAX			
洋風大便器	CS232B/SH223BA /TC301/YH51R	BC-Z30S/DT-Z380/ CF-49AT/CF-AA23D	床沖床排水大便器・手洗付密結タンク・普通便座(ソフト閉止) 紙巻器	16	
洗面器		L-176UAG/ LF-206A-G	壁掛洗面器・ツーハンドル混合水栓	16	
洗濯器パン	PWP740NW/ PJ2008R	PF-7464AC/ TP-51	高結晶PP製洗濯パン 740×640	16	
キャビネット	TW-T300 (東プレ)			16	
混合水栓	TKJ23UR		台付ツーハンドル混合水栓	16	
洗濯器用水栓	TW11R	LF-HNSOKO	緊急止水弁付水栓	16	
万能ホーム水栓	F7-13 (公団記号)		吐水口回転形水栓(キー式)	2	
水栓柱			L=1200(ステンレス製ヘアライン仕上げ)	2	

機器表

記号	名称	機器仕様	数量	設置場所	備考
GHW-1	瞬間ガス湯沸器	型式 : 屋外壁掛型(PS扉内取付)PS扉内後方排気延長形沖縄仕様(潜熱回収型・耐塩仕様・ヤモリガード) 能力 : 16号 接続口径20A 標準ガス消費量3.95kW 材質 : リモコン・リモコン用ケーブル・伸縮継手・その他一式	16	P S	

※注記

- 1・熱源機器は全てヤモリガード仕様とし耐塩処理品(沖縄専用)とする。
- 2・ガス湯沸機の運転性能はJIS S2109に規定された定格条件による。

換気機器表(住戸)

記号	名称	機器仕様	設置場所	数量	備考
FE-1	天井用換気扇	型式 : 天井埋込型プラスチックボディ 能力 : 70m ³ /h×10pa 付属品 : パイプフード(ステンレス製防虫網付)	住戸部ユニットバス	16	2台換気
FE-2	天井用換気扇	型式 : 天井埋込型プラスチックボディ 能力 : 40m ³ /h×10pa 付属品 : パイプフード(ステンレス製防虫網付)	住戸部トイレ	16	
FE-3	レンジフードファン	型式 : 浅型レンジフードファン丸ダクト接続形 能力 : 300m ³ /h×30pa 付属品 : グリスフィルター付 ステンレス製ウエザーカー(防虫網付)	台所	16	600タイプ
OA-1	自然給気口	型式 : 壁取付形(フィルター、風圧シャッター付)100A 付属品 : パイプフード(ステンレス製防虫網付深型)	居室	40	
OA-2	自然給気口	型式 : 壁取付形(フィルター、風圧シャッター付)100A 付属品 : パイプフード(ステンレス製防虫網、印付深型)	居室	8	A棟104(洋室1) A棟201(洋室1) A棟204(洋室1+2) B棟101(洋室1) B棟201(洋室1+2) B棟204(洋室1)

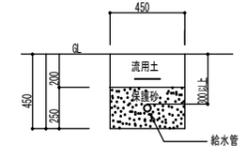
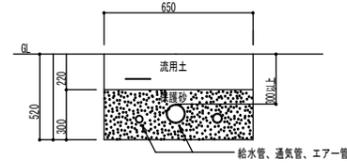
※性能評価特記事項

- 1、コンクリート内の配管埋込みは行わない事。
又、PS内床転がし配管をモルタル、コンクリート等に埋め込まない事。
埋込み配管になる部分はさや管工法とする。
- 2、地中埋設配管上でのコンクリート打設は行わない事。
- 3、共用配水管の掃除口の位置については共用立管部は最上階又は屋上、
最下階及び3階以内おきに中間階又は15m以内毎に掃除口を設置する。
- 4、横主管は10m以内毎に掃除口を設置する。
- 5、主要接合部等、又は排水管の掃除口に点検口を設置する。
- 6、共用排水管及び専用排水管の内面は円滑でたわみ及び抜け等が生じない様支持をする。
たわみ防止の処置として、支持金具、吊金物等により固定する。
尚、抜け防止の処置として、接着接合、ネジ接合、メカニカル接合とする。
- 7、管の曲りが連続、管が合流する事等により管の清掃に支障が応じやすい部分
がある場合にあっては、支障なく掃除が行える位置に掃除口を設ける。
- 8、排水のための配管設備の容量及びその算定方法並びに傾斜は以下による。
排水管径算定手法：排水負荷単位法
配管の傾斜は有効な数値を確保するものとする。
- 9、給水管に講じたウォーターハンマー防止のための措置は以下による。
流速を小さくする。
ウォーターハンマー防止器を設置する。
- 10、腐食するおそれのある部分及び当該部分の材料に応じ腐食防止のために講じる措置は以下による。
土中埋設部分：防食テープ巻き・その他塩ビ管の使用
- 11、ガスの配管設備は施工等は告示第1099号の基準に準じること。
- 12、配管設備に用いる材料は法36 129の2の4の基準に準ずる事。

工事名称	やが市営住宅建替機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	衛生器具・換気機器表
発注機関	名護市建設部建築住宅課	縮尺	
摘要		図面番号	M-08
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	有限会社ナカソ本設計	
	資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹	
	登録番号	1 第1級建築士登録 (大分) 第266009号	
所在地	沖縄県名護市宇屋三丁目4番7-1号 TEL 0980-52-2797		

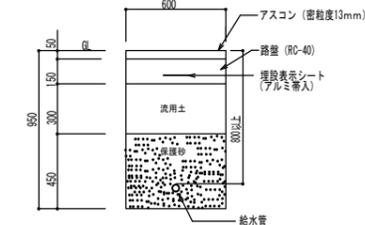
凡例（衛生設備）

記号	名称	材質	規格	備考
— — — — —	給水管（上水）	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管、H I V P	JWWA-K-116 JWWA-K-118	SGP-VB、SGP-VO（排水用配管）、H I V P（排水用）
— — — —	給湯管	耐熱性硬質塩化ビニル管（H T - V P）	JIS-H-3300	特記仕様書参照
— — — — —	排水管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741	VP
- - - - -	通気管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741	VP（屋外露出管差込）
— G — — —	ガス管	ポリエチレン被覆鋼管	JIS-G-3452 JIS-G-3469	SGP、PLP
— RD — — —	雨水管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741	VP-75A（屋外露出管差込）
— ⊕ — — —	仕切弁	青銅製（50A以下）、鋳物製（ナイロンコーティング、65A以上）	JIS-B-2011 JIS-B-2031	第2編 第1、2、11による
— ⊙ — — —	埋設弁	青銅製（50A以下）、鋳物製（ナイロンコーティング、65A以上）	JIS-B-2011 JIS-B-2031	第2編 第1、2、11による
— M — — —	量水器	第2編 第1、2、14による		
⊙ (水) ⊙ (油) ⊙ (水)	水栓		JIS-B-2061	節水こま
⊙	床上掃除口	黄銅製ニッケルクロムメッキ仕上		COA一般、COB 防水層
⊙	床下掃除口	黄銅製ねじ込み形 塩ビ製		
⊙	床排水トラップ	黄銅製ニッケルクロムメッキ仕上		T5A 一般、T5B 防水層
⊙	インパルト機	塩ビ製	蓋 HASS209	SC型
— + — — —	管の継手 T・Y			
⊥ — — —	90°エルボ			
⊥ — — —	バンド			
⊥ — — —	バンドキャップ	アルミニウム製（埋込型）		排水通気管用
⊙ ⊠ ⊠	掃除口 00-75A 00-100A	塩ビ製（ピット、P S内）		

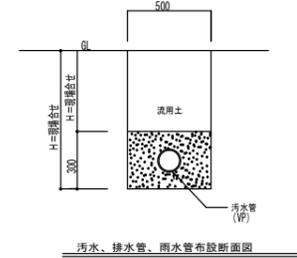


給水管布設断面図 (A-A) ○ ○

給水管布設断面図 (一般)

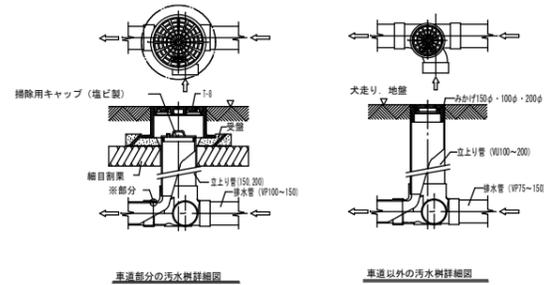


給水管布設断面図 (車道)
※路盤構成は現場合わせによる。



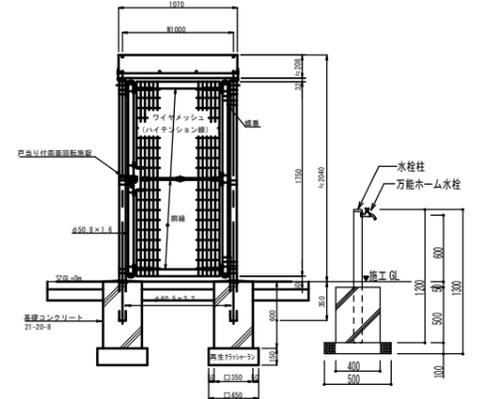
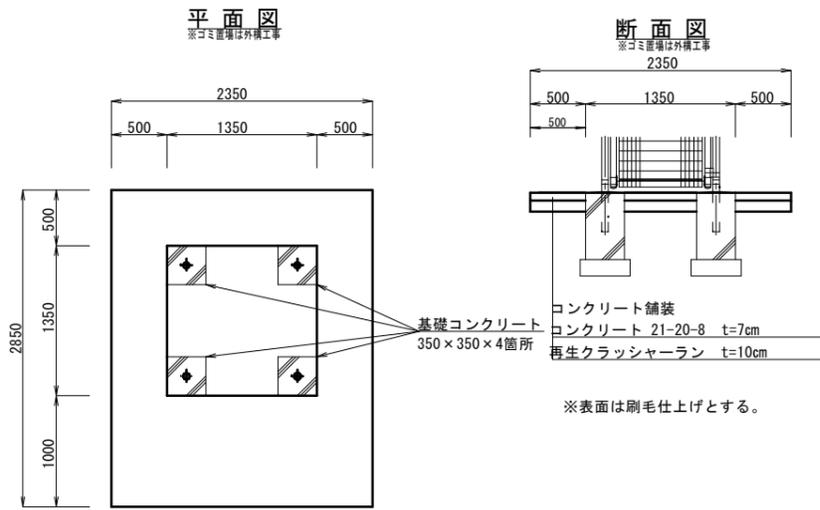
汚水、排水、雨水布設断面図

記号	樹種	高さ	樹差	備考
S-1	小口インパルト機 φ0L-100-150	400	ミカゲ 150A	
S-2	小口インパルト機 φ0Y-100-150	450	ミカゲ 150A	
S-3	小口インパルト機 φ0L-100-150	530	ミカゲ 150A	
S-4	小口インパルト機 φ0L-100-150	560	ミカゲ 150A	
S-5	小口インパルト機 φ0Y-100-150	600	ミカゲ 150A	
S-6	小口インパルト機 φ0L-125-150	650	ミカゲ 150A	
S-7	小口インパルト機 φ0L-125-150	670	ミカゲ 150A	
S-8	小口インパルト機 φ0L-100-150	680	ミカゲ 150A	
S-9	小口インパルト機 φ0Y-125-150	680	ミカゲ 150A	
S-10	小口インパルト機 WLS-150-150	760	ミカゲ 150A	
S-11	小口インパルト機 ST-150-150	860	ミカゲ 150A	
S-12	小口インパルト機 φ0L-150-150	960	内差、防塵蓋 150A(T8)	
R-1	小口インパルト機 φ0L-100-150	400	ミカゲ 150A	



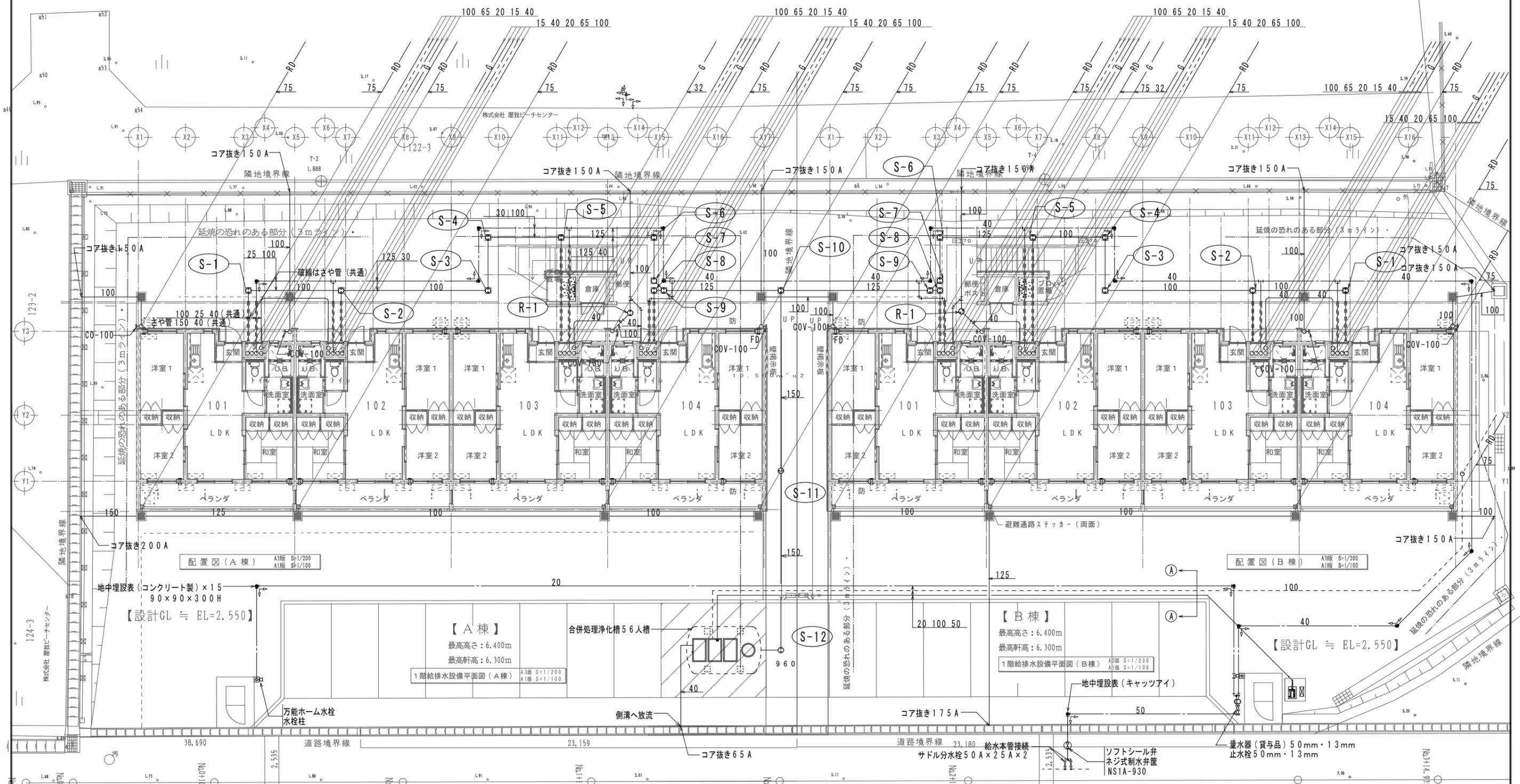
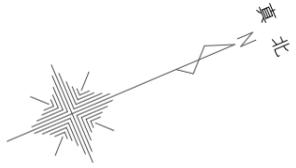
- 共通
- ※部分は隙間が出来ないよう専用工具にて施工する。隙間がある場合は防水製のコーキング処理を行う。
 - 受盤下の軸目割栗は転圧を十分に行い受盤を設置する。
 - 鉄筋蓋の塗装は、建築仕上げ色に適合させる。

小口径樹設置図 NO SCALE



水栓柱施工要領図 (側面)
※ゴミ置場は外構工事
※施工の際にゴミ置き場の基礎と水栓の基礎のとりあいに注意する。

工事名称	やが市営住宅建築機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	凡例・樹規格表・土工図
発注機関	名護市建設部 建築住宅課	総尺	1号 5410 4号 5430
構 成	管理建築士 設計 製 図	図面番号	M-09
検 印		名 称	有限会社ナカノ設計
		資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹
		登録番号	1 第1級建築士登録 (本邦) 第266099号
		所在地	沖縄県名護市宇屋我地内 4番7-1号 TEL: 0980-62-2737



配置図 (A棟) A3版 S=1/200
A1版 S=1/100

配置図 (B棟) A3版 S=1/200
A1版 S=1/100

【A棟】
最高高さ：6.400m
最高軒高：6.300m

【B棟】
最高高さ：6.400m
最高軒高：6.300m

地中埋設表 (コンクリート製) × 15
90 × 90 × 300H
【設計GL ≒ EL=2.550】

【設計GL ≒ EL=2.550】

合併処理浄化槽 56人槽

地中埋設表 (キャッツアイ)

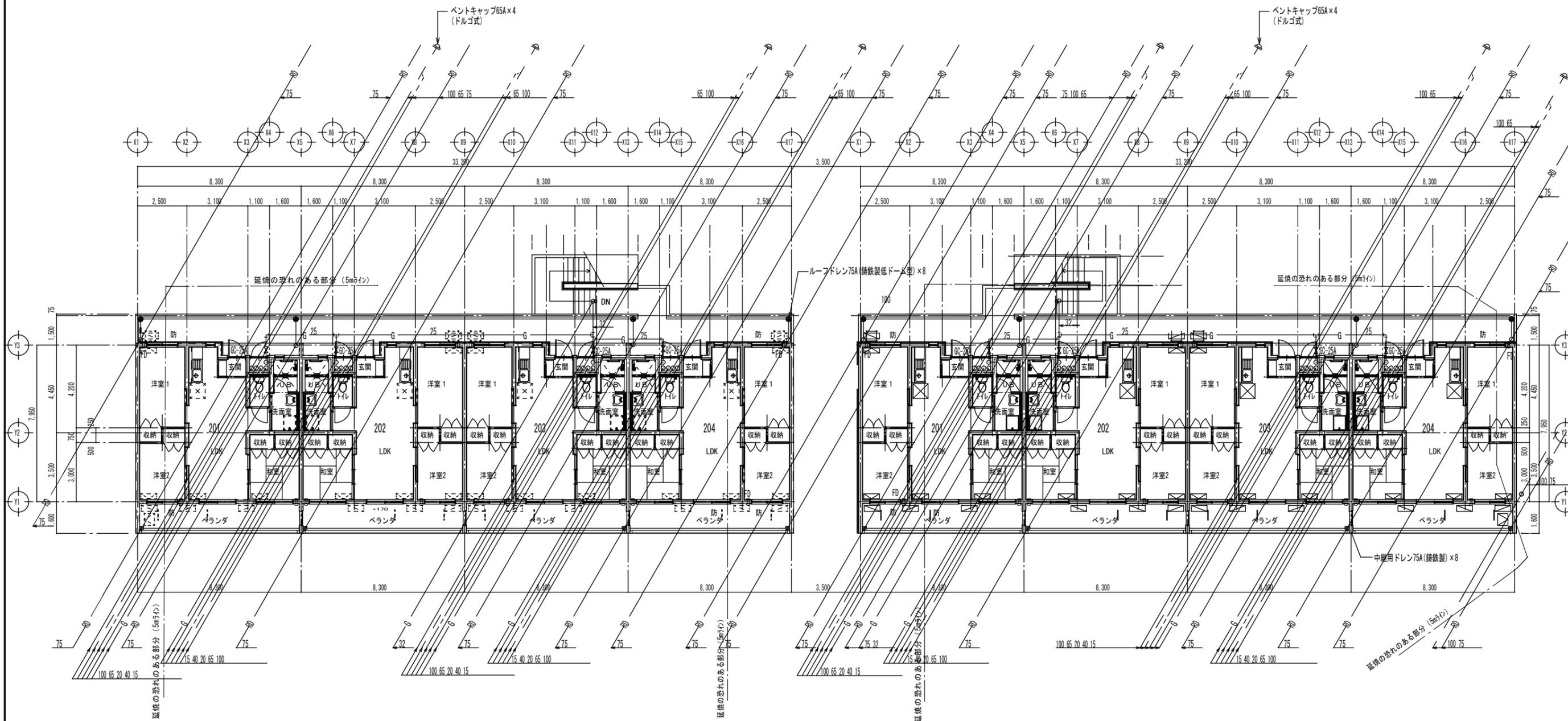
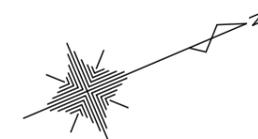
量水器 (貨品目) 50mm・13mm
止水栓 50mm・13mm

敷地と道路との関係 (県条例 第24条)
有効幅 6.0m以上 OK

屋我地 4-3号線 (42条1項1号道路)
幅員 6.00m

屋我地 4-3号線 (42条1項1号道路)
幅員 6.00m

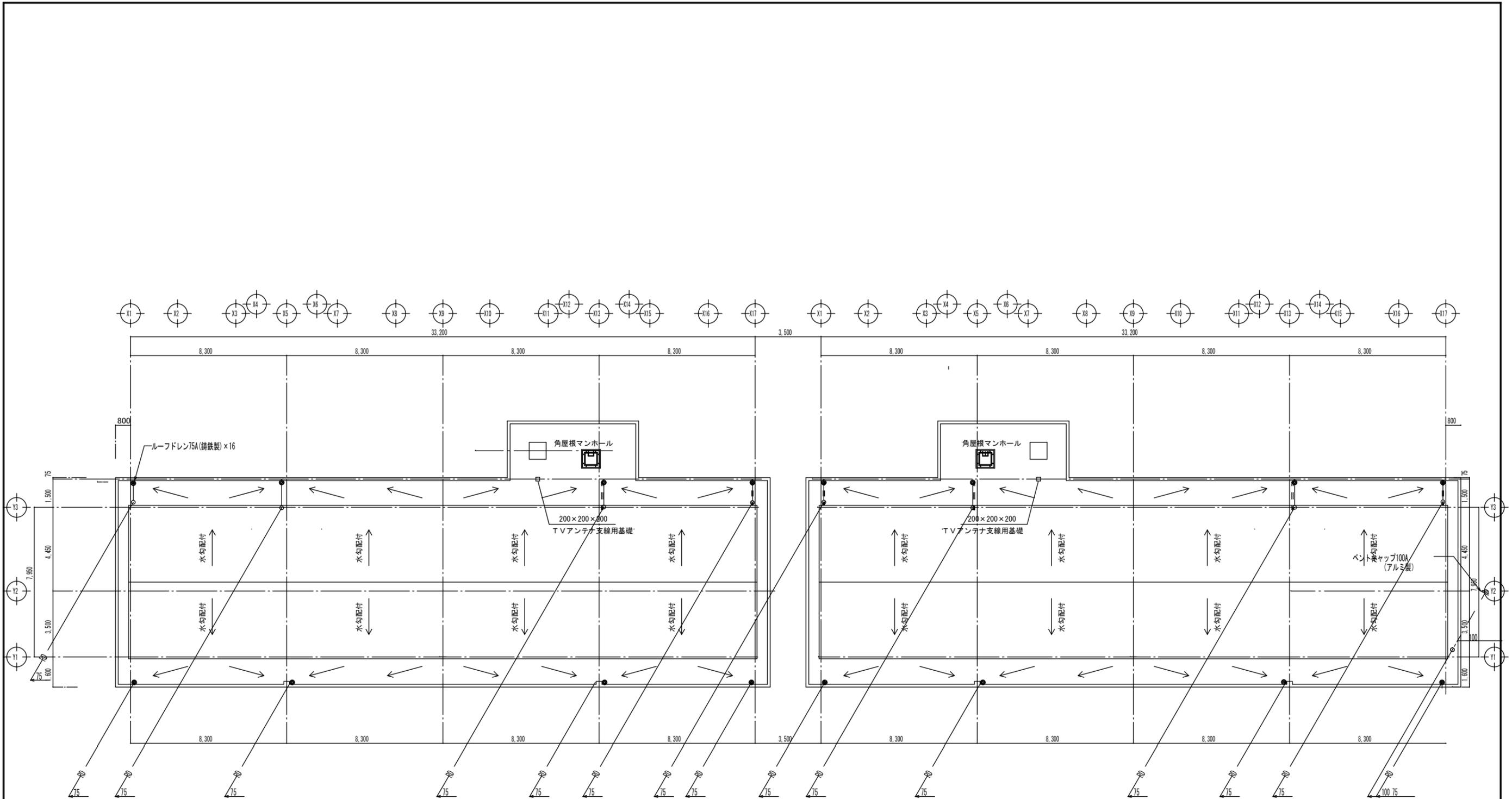
工事名称	やが市営住宅建替機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋表地内	図面名称	1階給排水設備平面図 (A・B棟)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A1版 S=1:100 A3版 S=1:200
備考		図面番号	M-10
検印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	管理建築士	仲宗根 徹
	登録番号	1級建築士登録	(大図) 第266099号
	所在地	沖縄県名護市宇屋表5丁目4番7-1号	TEL 0980-52-2797



2階給排水設備平面図 (A棟) 縮尺 S:1/200
A1図 S:1/100

2階給排水設備平面図 (B棟) 縮尺 S:1/200
A2図 S:1/100

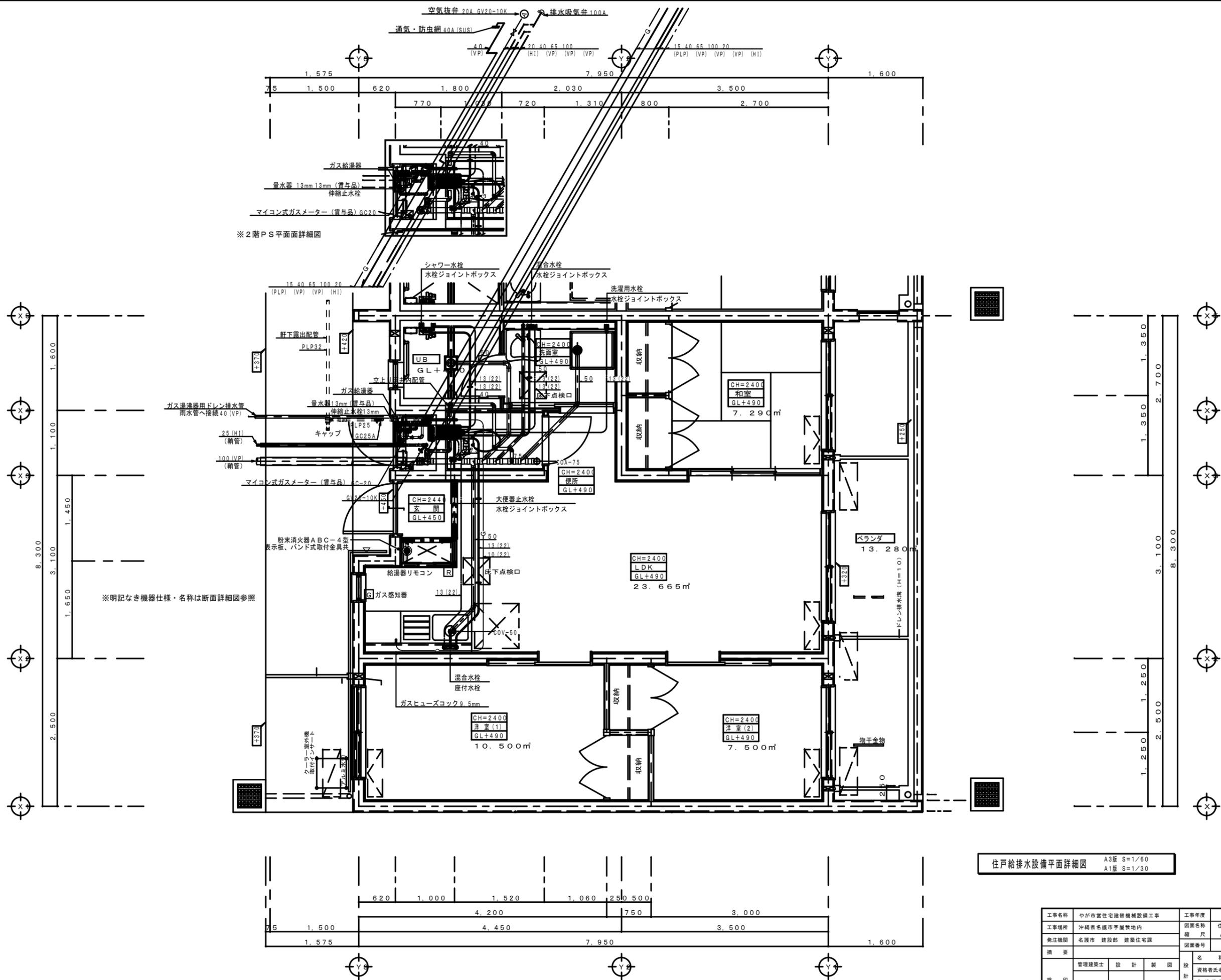
工事名称	やが市営住宅建築機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋敷地内	図面名称	2階給排水設備平面図 (A・B棟)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	縮尺 S:1/200 S:1/100
概要	管理建築士 設計 製図	図面番号	M-11
		名称	有限会社ナカソノ設計
機印	管理建築士 設計 製図	資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹
		登録番号	1級建築士登録 (文部) 第266099号
		所在地	沖縄県名護市宇屋敷2丁目4番7-1号 〒901-0001 名護市宇屋敷2丁目4番7-1号



R階給排水設備平面図(A棟) A縮 5/1,200 B縮 5/1,100

R階給排水設備平面図(B棟) A縮 5/1,200 B縮 5/1,100

工事名称	やが市営住宅建築機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市平屋敷地内	図面名称	R階給排水設備平面図(A・B棟)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A縮 5/1,200 B縮 5/1,100
備考		図面番号	M-12
捺印	管理建築士	設計	製図
	名称	有限会社ナカソネ設計	
	資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹	
	登録番号	1級建築士登録 (大分)第26099号 沖縄県名護市平屋敷3丁目4番7-1号 TEL. 0980-92-2787	

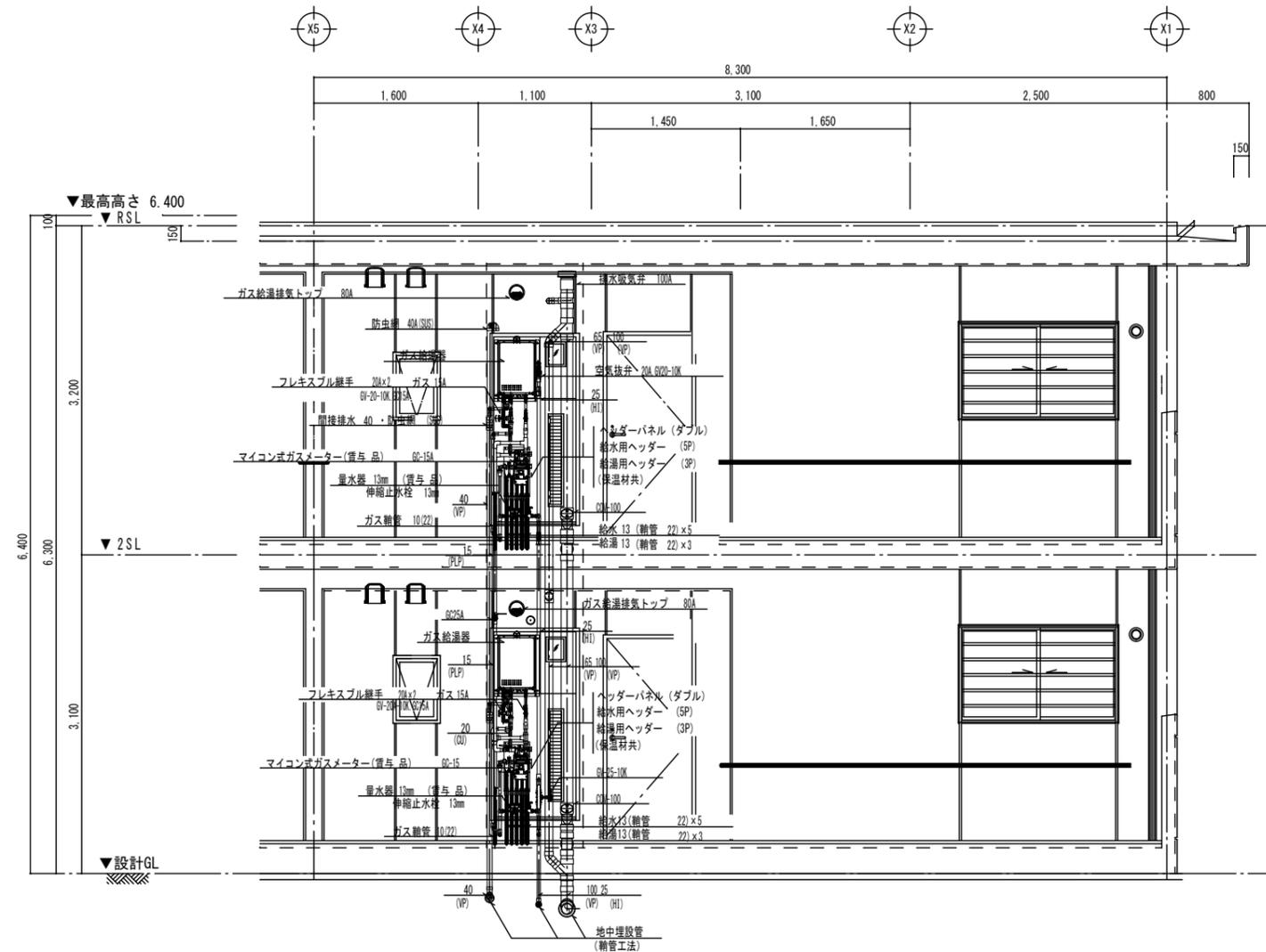


※明記なき機器仕様・名称は断面詳細図参照

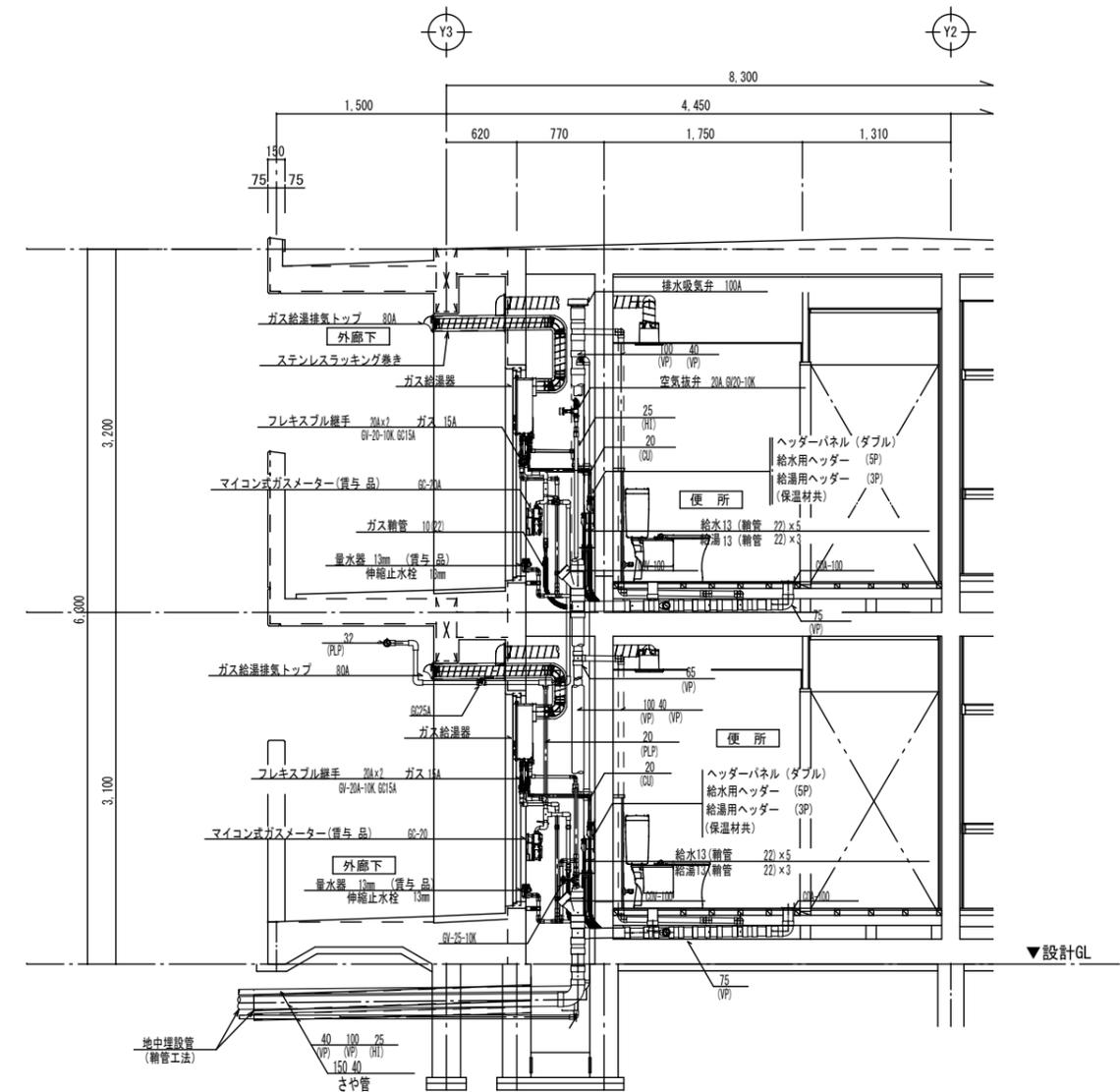
※2階PS平面詳細図

住戸給排水設備平面詳細図 A3版 S=1/60
A1版 S=1/30

工事名称	やが市営住宅建替機械設備工事	工事年度	令和5年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	住戸給排水設備平面詳細図
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A1版 S=1:30 A3版 S=1:60
備考		図面番号	M-13
検印	管理建築士	設計	製図
	設計		製図
	名		有限会社ナカソ設計
	資格者氏名		管理建築士 仲宗根 徹
		登録番号	1級建築士登録 (大野) 第266099号
		所在地	沖縄県名護市宇屋我地内4番7-1号 TEL 0980-52-2797



PS 断面詳細図 A
A1版 S-1/40
A1版 S-1/20



PS 断面詳細図 B
A1版 S-1/40
A1版 S-1/20

※防火区画貫通処理材

給水・給湯・さや管・ガス (壁)

国土交通大臣 PS06WL-0065

日本消防設備安全センター KK19-133

熱膨張性シート塩ビ管用 (壁)

国土交通大臣 PS06WL-0063

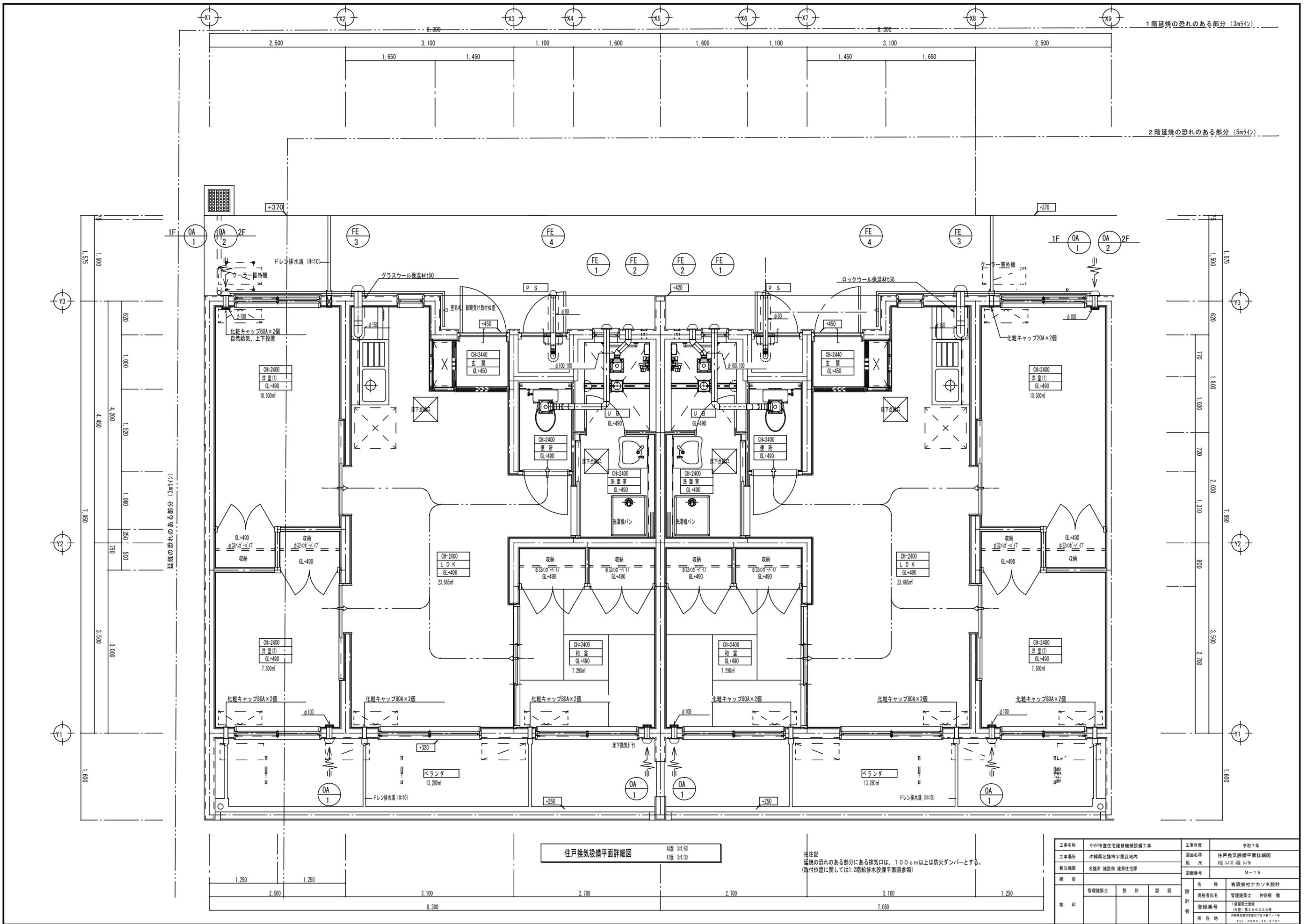
日本消防設備安全センター KK19-116

熱膨張性シート塩ビ管用 (床)

国土交通大臣 PS06FL-0070

日本消防設備安全センター KK19-116

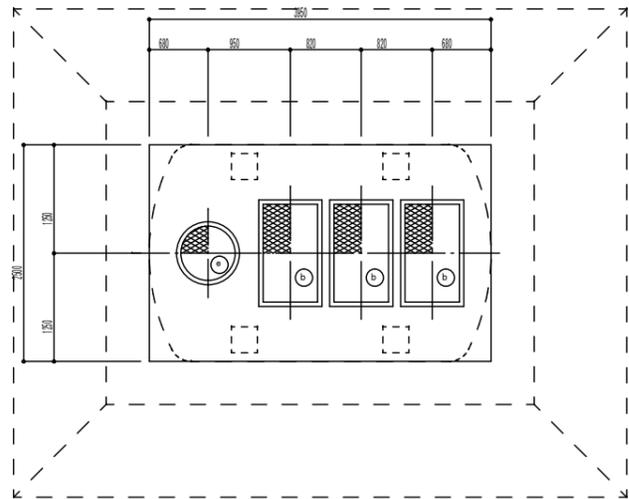
工事名称	やが市営住宅建築機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市手原我地内	図面名称	PS 断面詳細図 A・B
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A1版 S-1/20 A3版 S-1/50
備考		図面番号	M-14
枚印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	管理建築士	有限会社ナカソネ設計
	登録番号	1級建築士登録 (大分) 第24600000号	管理建築士 仲宗根 徹
所在地	沖縄県名護市手原我地内4番7-1号		TEL 0980-82-2787



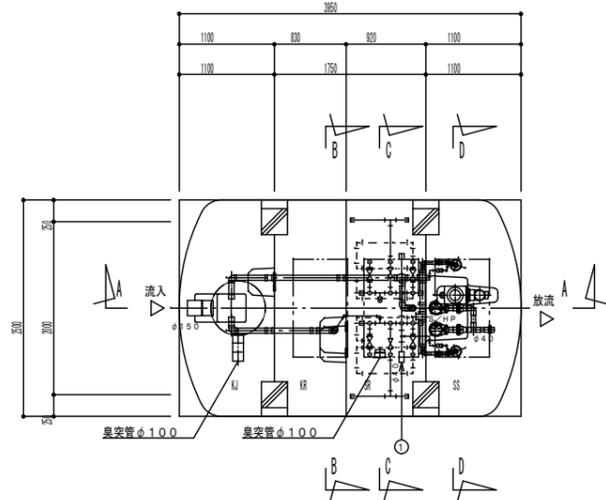
住戸換気設備平面詳細図 A3版 S-1/60
A1版 S-1/30

※注記
 延焼の恐れのある部分にある排気口は、100cm以上は防火ダンパーとする。
 (取付位置に関しては1.2階給排水設備平面図参照)

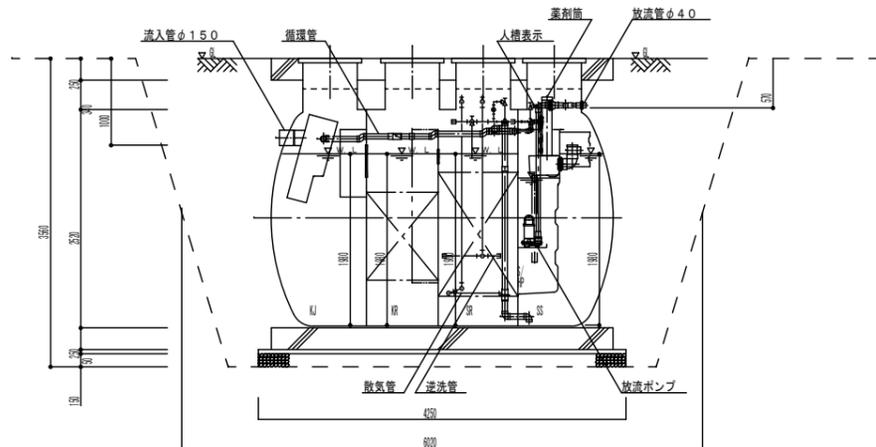
工事名称	やが市営住宅建替機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	住戸換気設備平面詳細図
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	1/50 A3版 S-1/30
備考		図面番号	M-15
設計者	管理建築士	設計	装図
	資格者氏名	管理建築士 仲宗根 豊	
	登録番号	1級建築士登録 (大配) 第26609号	
所在地	沖縄県名護市宇屋我地内4番7-1号 TEL. 0980-52-2757		



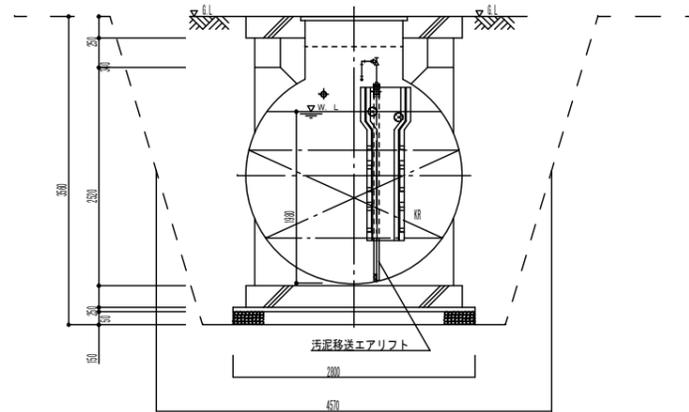
スラブ平面図 S:1/40



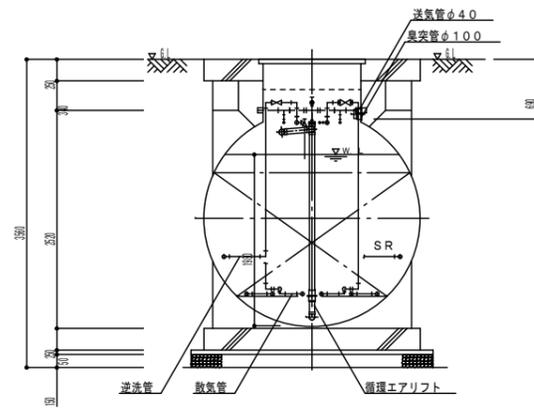
内部平面図 S:1/40



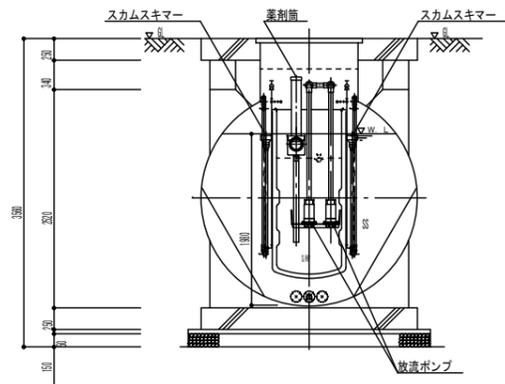
A-A断面図 S:1/40



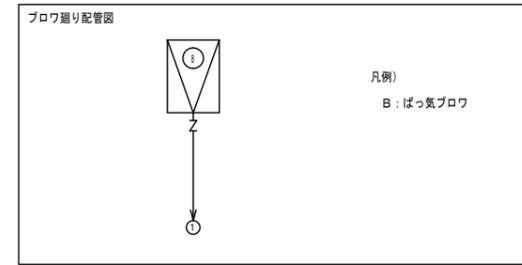
B-B断面図 S:1/40



C-C断面図 S:1/40

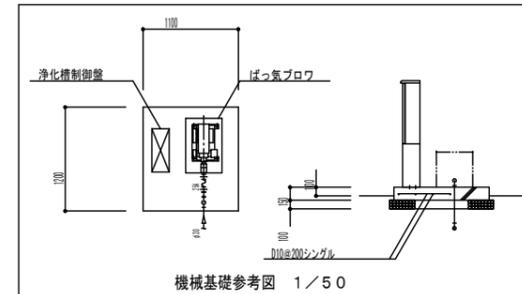


D-D断面図 S:1/40



凡例
B: ばっ気ブロウ

記号	配管名称	配管径
①	SRばっ気・循環・汚泥移送用送気管	φ30



流入水質		放流水質	
BOD	200 mg/L	BOD	20 mg/L

仕様表 (参考)	
処理方式	接触ろ床方式
型式名称	フジクリーンプラント PVI-56A型 (PVA101)
処理対象人員	56人
計画汚水量	11.2m ³ (排水時間 12時間)
機器名称	仕様
ばっ気ブロウ	25A×0.75kW×0.45m ³ /min×1台
放流ポンプ	40A×0.15kW×0.08m ³ /min×2台

容積表		
記号	槽名称	実有効容量
KJ	夾雑物除去槽	3.67m ³
KR	嫌気ろ床槽	3.27m ³
SR	接触ろ床槽	3.64m ³
SS	処理水槽	2.80m ³
S/HP	消毒槽兼放流ポンプ槽	0.24m ³ /0.17m ³

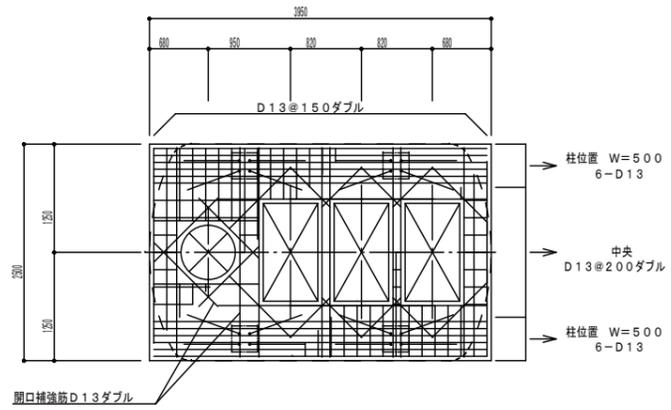
開口表				
記号	呼称寸法	数量	仕様	材質
b	700×1200	3		
e	φ600	1	25DOK	

配管仕様表	
露出配管 (ブロウ通り)	SGP
土中配管	φ65以下~VP・φ75以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部はT-10荷重とする。
- 注2) 機器電源は単相200Vとする。
- 注3) 図中の「G.L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からブロウまでの距離は20m以内とする。
- 注5) 浄化槽制御盤以降の計装工事は浄化槽工事とする。
一次側 (電源引き込み、接地工事) は電気設備工事とする。
- 注6) 外部管接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) 地耐力は60KN/m²以上基準とし、掘削終了後、根切り底にて平板載荷試験を行い基準のN値が確認できない場合は、監督員と調整の上地盤改良を行う。
尚、地盤改良の工法についても監督員と協議の上決定する。
- 注8) 埋め戻しは石粉にて行うこと。
- 注9) 最高嵩上げ高さ: 300mmまでとする。

槽本体寸法・吊上目安重量
機型1 φ2500×3950L 目安重量: 1820kg

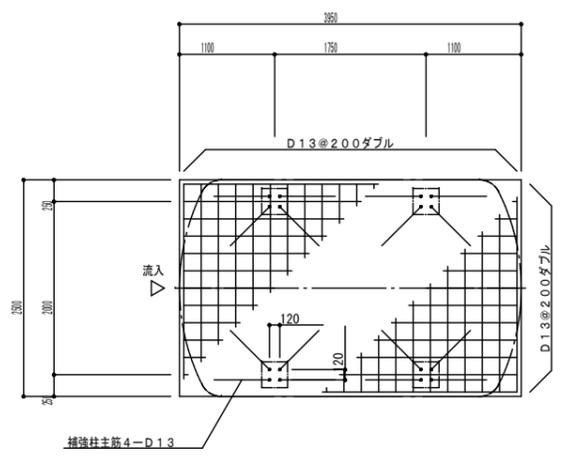
工事名称	やが市営住宅建築機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	浄化槽設備 (1)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	1/50 S:1/50 K:5 S:1/50
構 造		図面番号	M-16
機 印	管理建築士	設 計	製 図
名 称	有限会社ナカソネ設計		
資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹		
登録番号	1級建築士登録 （次号）第246090号		
所在地	沖縄県名護市宇屋我地内4番7-1号 TEL 0980-52-2797		



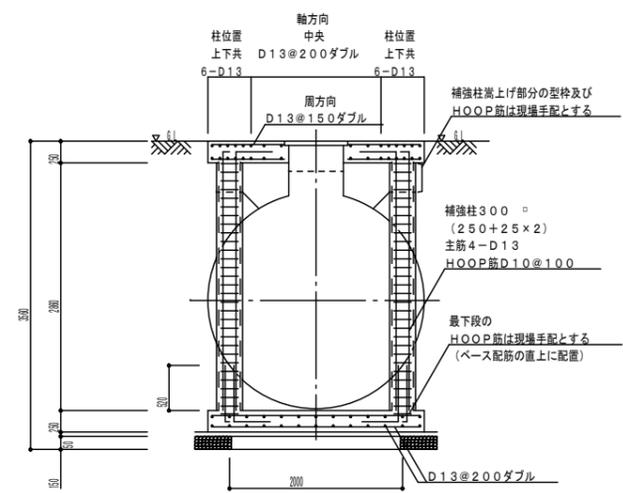
スラブ配筋図 1/50

一般事項	
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地業	砕石又はRC 40~0

注1) 上部はT-10荷重とする。
 注2) 図中の「G. L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
 注3) 地耐力目標値=60KN/m² (載荷試験結果により基礎工法決定)



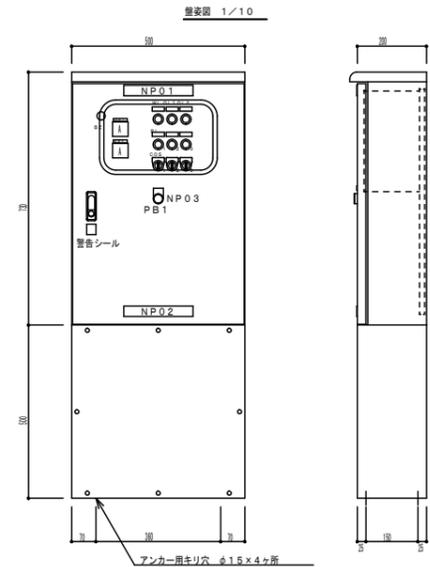
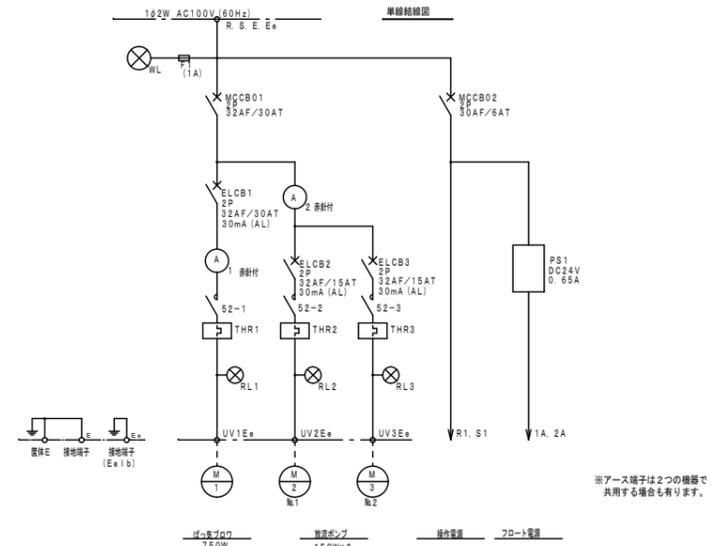
ベース配筋図 1/50



横型槽断面配筋図 1/50

住戸換気設備平面詳細図 A3版 S-1/60 A1版 S-1/20

工事名称	やが市営住宅建替機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋我地内	図面名称	浄化槽設備図(2)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	A3版 S:1/60 A1版 S:1/20
図番		図番番号	M-17
備考		名称	有限会社ナカソネ設計
設計	管理建築士 設計 製図	資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹
校印		登録番号	1級建築士登録 (沖縄) 第260000号
		所在地	沖縄県名護市宇屋我地内4番7-1号 TEL:0980-52-2797



制御盤仕様

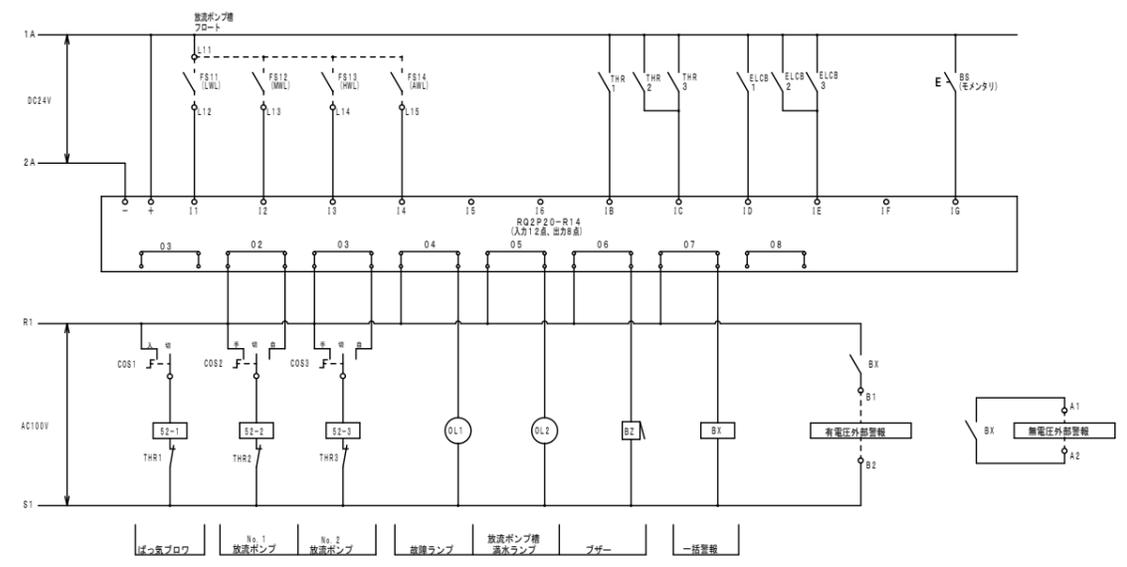
構造	水切、防水・防塵構造
板厚	本体 1.6t (中板 2.3t)
(ステンレス製)	扉 1.6t
塗装	外面 マンセルSY7/1
	内面 マンセルSY7/1

注) ランプは白熱球とする。

銘板表

記号	名称
NPO1	浄化槽制御盤
NPO2	メーカー名
NPO3	ブザー停止
NP1	ばっ気ブロー
NP2	放流ポンプ

操作回路図



工事名称	やが市営住宅建設機械設備工事	工事年度	令和7年
工事場所	沖縄県名護市宇屋敷地内	図面名称	浄化槽設備図(3)
発注機関	名護市 建設部 建築住宅課	縮尺	1/32A
図面番号	M-18		
機印	名称	有限会社ナカソノ設計	
	資格者氏名	管理建築士 仲宗根 徹	
	登録番号	1級建築士登録 1201 第25009号	
	所在地	沖縄県名護市宇屋敷1-10 TEL 0980-52-2797	